

| 自己評価 | | | | 学校関係者評価 | 次年度への課題と | |
|-----------------|---|--|--|---|----------|---|
| 重点課題 | 重点目標 | 評価指標と活動計画 | 評価 | 学校関係者の意見 | 今後の改善方策 | |
| 安心・安全な学校づくり | (全校レベル) II) 事故防止、感染症予防対策の徹底 <下位組織レベル> ① 感染症予防、事故防止対策の徹底 | 評価指標 ① すべての生徒が就業体験中の健康観察表を毎日記入し、感染予防の徹底ができた。 | 評価指標の達成度 ① すべての生徒が就業体験中の健康観察表を毎日記入し、感染予防の徹底ができた。 | 総合評価 (評定) A (所見) ① 常に新型コロナウイルスとインフルエンザの感染状況をみながら実習を立案・計画・実施し実習先とも連絡を密にして就業体験を実施した。 | 別紙 | ① 引き続き、新型コロナウイルスとインフルエンザの感染症防止対策をとっただうえで就業体験を実施したい。 |
| | | 活動計画 ① 保護者に新型コロナウイルスの5類移行に伴う感染防止対策の内容の確認をしてもらった上で、就業体験への参加願いを提出してもらう。就業体験中、生徒の朝・夕の検温と健康チェックを毎日保護者が行い、健康観察表に記入、確認印を押し実習に参加する。 | 活動計画の実施状況 ① 就業体験実施時に保護者に新型コロナウイルス感染症防止対策をとっただうえで就業体験への参加の有無を選択し、実施の場合は参加願いを提出してもらうことができた。就業体験中、生徒の朝・夕の検温と健康チェックを毎日保護者が行い、健康観察表に記入、確認印を押し実習に参加することができた。 | | | |
| 多様性を育むキャリア教育の展開 | (全校レベル) I) 児童生徒及び保護者の教育的ニーズに応じた教育活動の実現 II) 卒業後を見据え、成長に応じた指導内容の精選 <下位組織レベル> ① 生徒の実態や希望、進路先の状況等をふまえた就業体験を実施する。 ② 児童生徒、保護者、教職員、関係機関との意思疎通と情報共有をはかる。 | 評価指標 ① 就業体験を年2回以上実施する。 ② 進路相談会(高等部2年生)、進路説明会を実施する。進路だよりの発行とホームページの更新を行う。 | 評価指標の達成度 ① 就業体験を年2回以上実施することができた。 ② 1月、2月に高等部2年生全員の拡大進路相談を行い、各関係機関との顔合わせや、卒業後の進路についての話し合いを実施した。9月に進路だよりを発行し、それに伴い、ホームページの更新を行った。次回は3月に発行予定。 | 総合評価 (評定) A (所見) ① 概ね計画通りに実施できた。高等部5年生の進路については関係機関との円滑な連携ができ本人・保護者の希望に沿った進路決定ができた。 ② 拡大進路相談では、本人と保護者の進路希望を各関係機関と連携することができた。 | 別紙 | ① 本人と保護者の希望を尊重した丁寧な進路指導や担任の先生方には本人・保護者の考えを面談でしっかりと聞き取っていただき進路指導課に伝えていただくことが大切である。そのためには進路に関するいろいろな情報を整理し密に伝達を図っていききたい。 ② 関係機関との連携を図りながら就職や施設利用、卒業後の住居の問題について取り組んでいきたい。 |
| | | 活動計画 ① 就業体験の実施(通年を通して職場開拓を実施) 希望の把握、計画、事前指導を行う。(4月・5月、9月・10月) 就業体験実施、事後指導、評価表作成を行う。(6月・11月) ② 拡大進路相談(1月 計画立案や関係機関との日程調整等を行う。) 拡大進路相談を実施する。(2月 高等部2年生) 進路説明会(7月に高1・高2の保護者・12月に中学部保護者)を実施する。その他随時受け付を行う。進路だよりを10月と3月に発行する。行事ごとにホームページの更新を3回以上行う。 | 活動計画の実施状況 ① 通年を通して職場開拓を実施した。4月、9月に希望の把握、5月、10月に計画、事前指導を行うことができた。6月、11月に就業体験の実施、事後指導、評価表作成を行うことができた。 ② 拡大進路相談の計画立案や関係機関との日程調整等を1月に行うことができた。拡大進路相談を実施した。(2月 高等部2年生) 進路説明会(7月に高1・高2の保護者・12月に中学部保護者)を実施することができた。その他随時受け付を行い、進路相談を行うことができた。進路だよりを10月と3月に発行することができた。行事ごとにホームページの更新を3回以上実施することができた。 | | | |
| 地域とともある学校づくり | (全校レベル) I) 地域と連携した教育活動の推進 II) 地域交流及び地域貢献活動の推進 <下位組織レベル> ① 就業・生活支援センター・相談支援事業所・市町村・行政・南部こども女性センター・病院等と関係機関との連携を図る。 ② 年間を通して職場開拓を行う。 | 評価指標 ① 「南部I自立支援協議会」「障がい者雇用を右上がり」企業ネットワーク」の定例会に参加する。その他、必要に応じて関係機関との連携を図る。 ② 就業体験実施にあたり、障がい者雇用についての啓発や職場開拓を行う。 | 評価指標の達成度 ① 「南部I自立支援協議会」「障がい者雇用を右上がり」企業ネットワーク」の定例会に参加することができ、必要に応じて関係機関との連携を図ることができた。 ② 就業体験実施にあたり、障がい者雇用についての啓発や職場開拓を行うことができた。 | 総合評価 (評定) B (所見) 「南部I自立支援協議会」「障がい者雇用を右上がり」企業ネットワーク」の定例会では、南部地域の各機関の活動内容や医療や福祉関係等、様々な分野の講演を聞くことができ、参考になることが多かった。また、卒業生の様子や支援方法等、必要に応じて関係機関との連携を図ることができた。 | 別紙 | ① 「南部I自立支援協議会」「障がい者雇用を右上がり」企業ネットワーク」の定例会に参加し、様々な分野の活動等を参考にしていきたい。 ② 一般就労を希望する生徒に対して、生徒の希望と実態に応じた職場開拓を引き続き行っていきたい。 |
| | | 活動計画 ① 南部I自立支援協議会定例会に毎月参加する。企業ネットワークの運営委員会、研修会に参加する。(年間各2回) その他…随時 ② 生徒の実態に応じて、高等部の全ての生徒の就業体験の実習先に依頼を行う。 | 活動計画の実施状況 ① 南部I自立支援協議会定例会に毎月参加することができた。企業ネットワークの運営委員会、研修会に参加することができた。(年間各2回) ② 生徒の実態に応じて、高等部の全ての生徒の就業体験の実習先に依頼を行うことができた。 | | | |

* 「評定」の基準 A:十分達成できた B:概ね達成できた C:達成できなかった